



令和4年度  
事業報告書

社会福祉法人 やながせ福祉会

短期入所生活介護

大津みやび野ホーム短期入所生活介護

令和4年度 事業目標

<p>目 標</p>	<p>情報共有と共通認識のもと、支援体制の強化に努め、安心かつ満足が得られる短期入所生活を図る。</p>
<p>理 由</p>	<p>疾病等にとどまらず、自宅での体調や生活状況などの情報を担当職員間で共有し、共通認識のもと、支援をすすめていくことで、安心ある生活を図りたいため。</p> <p>また、コロナ禍から制限ある日常生活を強いられている現状を踏まえ、季節感を取り入れた活動を行うことで、心身ともに健やかな生活を図っていくことで、利用時の満足度を高めたいため。</p>
<p>具体的対応策</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者と家族に加え、担当介護支援専門員とも連携を図り、疾病等にとどまらず、自宅での体調や生活状況などの情報を聴き取り、把握した情報を担当職員間で共有し、共通認識のもと、支援をすすめていくことで、利用時の安心や安堵を図る。</li> <li>2. 四季を感じられるように3密に配慮したレクリエーション活動など企画し、実施する。</li> <li>3. 利用者と家族に満足度を含めた利用時の生活状況に関するアンケート調査を継続して実施し、客観的に検証した集計結果をもとに支援や対応方法を担当職員間で協議し、意識統一を図る。</li> <li>4. 担当職員間で支援や対応に関する話し合いの場を設け、意見交換を行っていくことで、互いの知識と技術を高め合い、モチベーションの向上を図る。</li> </ol>

令和4年度 事業報告

<p>事業報告</p>	<p>医療行為が必要な方の問い合わせも増えており、介護員・看護師との連携を図り、受け入れ態勢を整えたことで、医療行為が必要な方の受け入れもスムーズに行うことができた。積極的に家族や担当支援専門員とも連絡を取り合い、お互いの困り事等を早急に知り、こまやかなサービスに努めていることで、家族の安心や安堵を図り、継続利用にも繋がっている。</p> <p>レクリエーションや教室活動においては、利用者に楽しんで頂けるように感染症対策に配慮しながら実施し、季節の飾り作りや生け花などの教室を企画し、実施した。料理教室では、調理行程や配膳なども含め、全員が参加できるように工夫したことで、より多くの利用者が参加し、好評を得ている。</p> <p>また、送迎時や担当者会議、連絡帳を活用することで、利用者本人や家族様の満足度を確認し、できるだけ自宅に近い環境での生活に努めた。家庭事情等から連続して利用している利用者には、オンライン面会などを通して、家族に事業所内での生活や様子など状態がより分かりやすく伝え、安心を図っている。</p> <p>よりよいサービスを行うために担当職員とも個人面談や会議の場を設け、今後、取り組みたいことや困りごとについて、意見交換を行い、業務改善に取り組んでいる。</p>
<p>事業運営総括</p>	<p>令和4年度の稼働率は89.6%と、令和3年度と比較すると6.5%上昇した。新規利用者の獲得については、令和4年度は66名と順調に増やすことができたが、8月中旬に併設特養から新型コロナウイルスの感染者が発症し、感染症対策として12日間営業を休止したとともに月末まで受け入れ制限を行ったことで稼働率が低下した。また、利用者や家族が濃厚接触者や感染者となったことで、利用中止せざるを得ない方も多く、近隣の感染発生状況などからも安定した稼働率を保つことは難しかった。</p> <p>今後、新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類に位置づけられることで、感染症に対する対策も施設内で再検討し、稼働率の向上と維持が図れるよう努めていきたい。引き続き併設特養の介護支援専門員や他居宅の介護支援専門員と連携を図り、利用者やその家族のニーズに臨機応変に対応できるように受入れ体制を整えていきたい。</p>

要介護度の状況 《平均要介護度 2.42》

令和5年3月31日 現在

	人数	割合
要支援 1	0	0%
要支援 2	3	7%
要介護 1	11	26%
要介護 2	9	21%
要介護 3	9	21%
要介護 4	8	19%
要介護 5	3	7%
合計	43	100%

(四捨五入による%の誤差あり)

月間利用実績(人数)

令和4年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援 1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
要支援 2	1	2	3	2	1	3	3	2	3	2	3	3	28
要介護 1	10	8	11	12	7	8	8	7	7	4	7	11	100
要介護 2	10	12	9	11	8	14	14	14	10	14	10	9	135
要介護 3	9	7	6	10	6	9	6	9	9	9	10	9	99
要介護 4	3	5	5	6	5	7	5	5	6	6	5	8	66
要介護 5	1	2	3	1	1	0	2	1	2	1	3	3	20
合計	34	36	37	43	28	41	38	39	37	36	38	43	450

月間利用実績(延べ人数) 《稼働率 89.6%》

令和4年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援 1	0	0	0	3	0	0	0	4	0	0	0	0	7
要支援 2	2	4	6	4	2	6	12	4	7	4	6	10	67
要介護 1	66	58	65	76	39	61	35	41	39	13	43	35	571
要介護 2	92	104	88	77	40	106	106	92	83	112	82	59	1,041
要介護 3	69	71	62	85	33	65	46	62	76	61	86	93	809
要介護 4	21	31	25	53	22	37	47	68	83	83	24	72	566
要介護 5	3	31	43	31	9	0	8	20	3	2	33	27	210
合計	253	299	289	329	145	275	254	291	291	275	274	296	3,271

曜日別延べ利用実績

令和4年度

	月	火	水	木	金	土	日	合計
人数	471	462	452	452	461	498	475	3,271
割合	14%	14%	14%	14%	14%	15%	15%	100%

(四捨五入による%の誤差あり)

1週当り平均利用人員

令和4年度

	月	火	水	木	金	土	日	合計	1日平均
人数	9.05	8.86	8.67	8.84	8.67	9.57	9.13	62.79	8.97
割合	14%	14%	14%	14%	14%	15%	15%	100%	—

(四捨五入による%の誤差あり)

年齢別構成状況

令和5年3月31日 現在

	65歳以下	65歳以上	70歳以上	75歳以上	80歳以上	85歳以上	90歳以上	合計
		から 70歳未満	から 75歳未満	から 80歳未満	から 85歳未満	から 90歳未満		
男	0	0	1	1	2	5	3	12
女	0	0	0	2	7	11	11	31
全体	0	0	1	3	9	16	14	43

## 行事報告

	行 事	趣味・生きがい活動	レクリエーション及び体操
4月	お花見会	散策	トランプゲーム
5月	おかずバイキング	塗り絵	口腔体操
6月	スイーツバイキング ドライブ：紫陽花、 蓮の花観賞	おやつ作り	リハビリ体操
7月	バーベキュー大会	七夕飾り作り	絵合わせゲーム
8月	※感染症対策により休止		
9月	寿会	ハロウィン飾り作り	口腔体操
10月	ドライブ：コスモス観賞	パン作り	リハビリ体操
11月	やながせ文化祭	クリスマス飾り作り	数字合わせゲーム
12月	クリスマス会	餅花正月飾り作り	絵合わせゲーム
1月	初詣	鍋メニュー	かるた
2月	節分	飾り作り、豆まき	リハビリ体操
3月	菜の花ドライブ	塗り絵	数字合わせゲーム

	行 事	趣味・生きがい活動	レクリエーション及び体操
定期的	料理教室	塗り絵 季節の飾り作り	リハビリ体操 ラジオ体操 口腔体操

苦情対応

苦情なし

事故対応

発生日	事故内容	事故対策
令和4年 9月14日	「転倒による脳内出血」 早朝、自力でトイレに行こうとされ、靴を履かずに歩行したため、足元が滑り、居室内で転倒する。その際、額が棚にあたり、出血する。脳神経外科に受診したところ、脳内出血と診断され、入院となる。	①ナールコールの使用方法を説明し、利用をすすめる。 ②立位動作や歩行動作時にふらつかないように靴を踏んでいないか、確認する。 ③加齢に伴う判断力の低下から思い・感じるままに生活行為を行うことを踏まえ、その時々的心神状態に応じた見守りや言葉かけを行う。 ④他者への支援に当たる場合は、言葉をかけ、注意喚起するなど、本人の状態を確認してから行う。 ⑤排泄パターンの把握に努め、排泄記録表を参考に事前に言葉をかけ、トイレでの排泄支援をすすめる。

※ 職員間の内部研修、外部研修、避難訓練については、併設の特別養護老人ホームと合同で行い、参加している。